

韓国東亜大学との学術交流

Global COE Report 11

Academic exchange with Dong-A University, South Korea

宮下政司、曹振波、中田大貴、時澤健、柴田愛、宮本直和

Masashi Miyashita, Zhen-Bo Cao, Hiroki Nakata, Ken Tokizawa, Ai Shibata, Naokazu Miyamoto

早稲田大学スポーツ科学学術院

Faculty of Sport Sciences, Waseda University

スポーツ科学研究, 7, 99-101, 2010年, 受付日:2010年9月13日, 受理日:2010年9月13日

2010年8月14日(土)から2010年8月17日(火)まで学術交流を目的に、早稲田大学スポーツ科学学術院の中村好男 教授、岡浩一朗 准教授、柴田愛 研究院助教、宮下政司 研究院助教らが Dong-A University (韓国・釜山市)を訪れた。

学術交流の実施に至るまでの背景として、中村好男 教授と Dong-A University の Professor Sang-Kab Park との長年に渡る交友関係より、今回、Professor Park より学術交流のご提案およびご招待を頂き、

Dong-A University の教員や大学院生・学部生との学術交流が実現できた。学術交流を通し、韓国におけるスポーツ医科学の現状や教育システムについて意見を頂き、今後の教育や研究に関わる重要な情報を得ることができた。また、今回の訪問に対し、Dong-A University の副総長である Professor Oh-Chang Kwon も歓迎してくださり、会談の中で韓国における健康科学分野の動向をお話して下さった。



写真1. Dong-A University の副総長室での会談

学術交流の中で特別講演会を設けて頂き、早稲田大学側から岡浩一郎 准教授、柴田愛 研究院助教、宮下政司 研究院助教らが以下の演題名で研究発表を行った。また、Dong-A Universityの卒業生で、東京都老人総合研究所研究員のDr Hyuntae Parkからは、高齢者における身体活動量計を用いた研究発表があった。夏休み中にも関わらず、多くの学生や教員が参加して下さった。訪問した

Dong-A Universityはもともと運動生理学に力を入れ教育や研究を行っている大学ではあるが、質疑応答やその後の意見交換の際には、日本の介護・医療制度や“高齢者研究”についての質問があり、中村好男 教授が丁寧に説明されるなど、岡浩一郎 准教授と柴田愛 研究院助教の研究分野に非常に関心を持たれていた。

演者: 岡浩一郎

演題名: Exploring Dissemination Strategies for Promoting Recommended Physical Activity among Japanese Adults

演者: 柴田愛

演題名: Effective Exercise Programs among Frail Elderly: Establishing Community-based Long-Term Care Prevention Programs

演者: 宮下政司

演題名: Aerobic Exercise and Non-fasting Triacylglycerol: Translating Theory into Practice

演者: Dr Hyuntae Park

演題名: Objectively Measured Physical Activity in Older Adults: Implications for Public Health, Clinical Practice, and Intervention





写真2. 特別講演会の様子および講演後の記念撮影

Dong-A Universityへの訪問は、今後の早稲田大学グローバルCOEプログラム“アクティヴ・ライフを創出するスポーツ科学”の教育の一環として、特に本拠点が目指す「アジア・オセアニアの大学との学術交流」の発展に寄与できる活動であった。最後に、

今回の学術交流にあつて、温かくお迎えしてくださった、Dong-A UniversityのProfessor Sang-Kab Park、Professor Oh-Chang Kwon、Dr Eun-Hee Kim、Dr Yoo-Chan Kwon、東京都老人総合研究所のDr Hyun-Tae Parkに感謝の意を表します。